

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-7号)

平成28年7月14日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年7月12日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

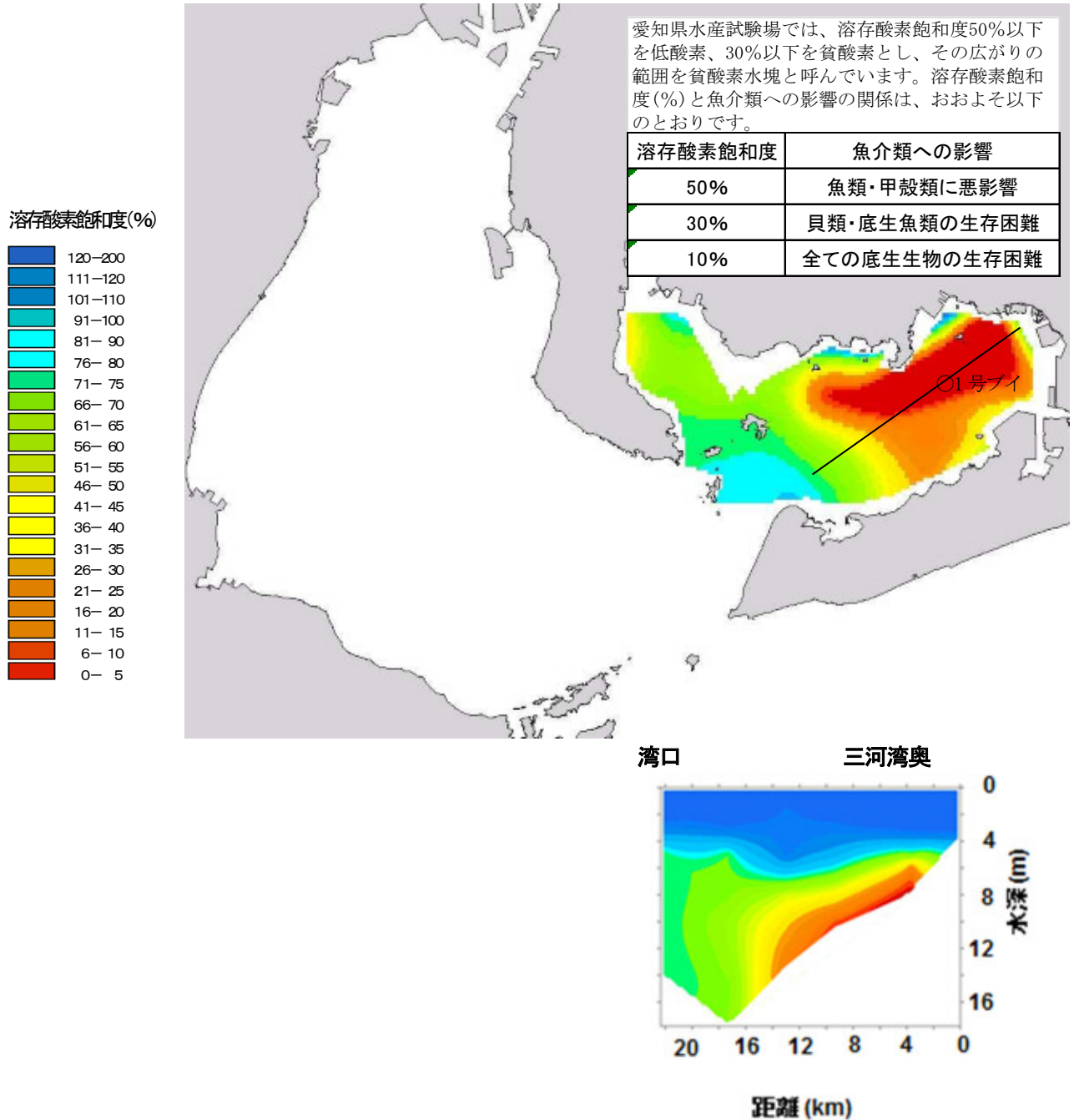


図1 三河湾 (7月12日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

### 三河湾

7月12日の調査結果を図1に示しました。前回調査（7月7,8日）と同様に渥美湾では湾奥から湾中部で貧酸素水塊が確認されましたが、前回、知多湾の一部でみられた貧酸素水塊は解消していました。

自動観測ブイ（1号ブイ：蒲郡沖）のデータをみると、底層では貧酸素水塊が継続して観測されています（図3）。

今後は、表層の水温上昇、低塩分化により、躍層が維持され海水の上下混合が起きにくく、貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)			塩分		
表層	25.0	～	27.8	26.2	～	30.8
底層	20.0	～	26.9	29.7	～	33.2

図2 調査時の水温・塩分

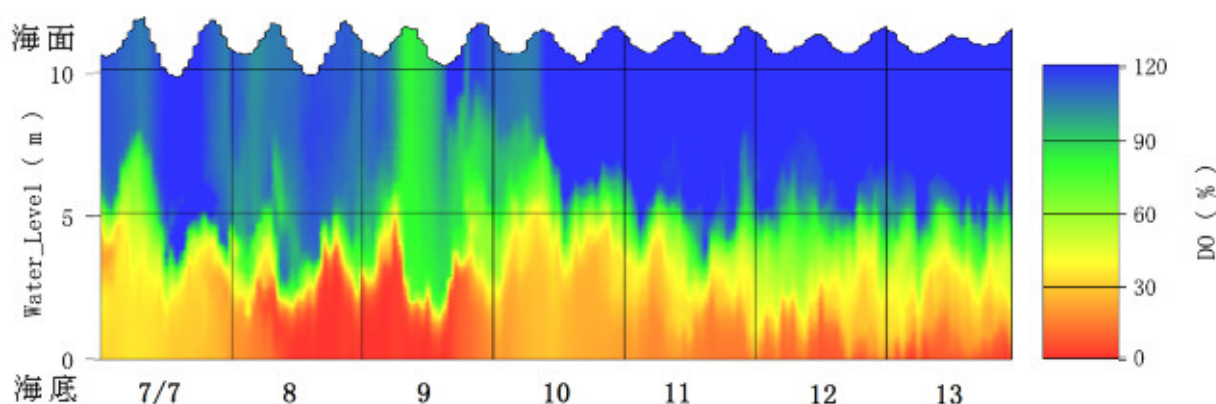


図3 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (自動観測ブイ1号)

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

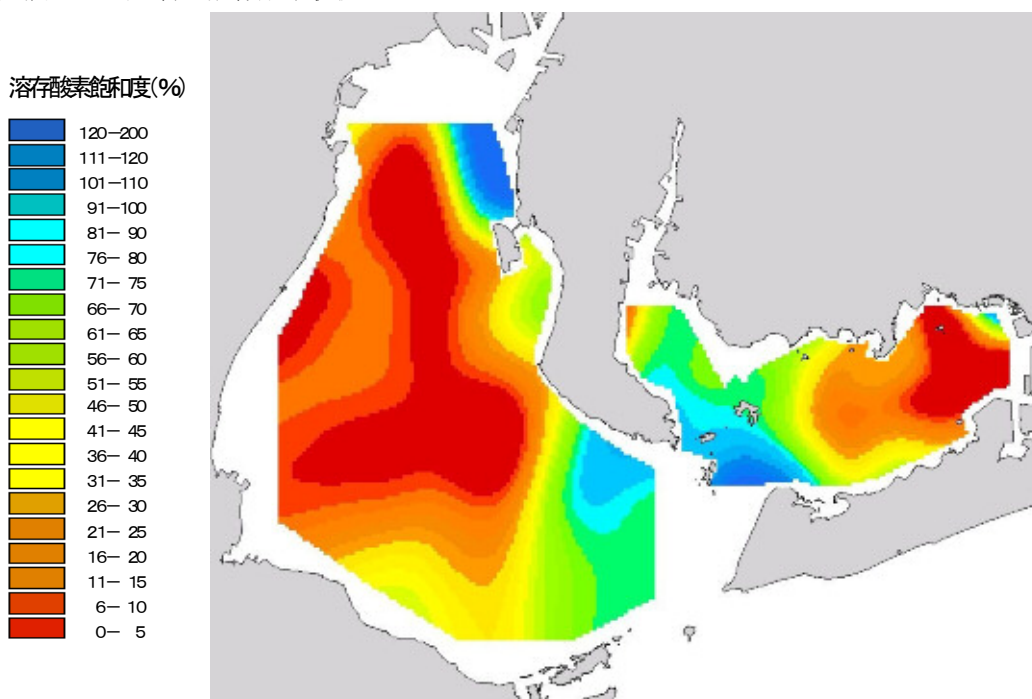


図4 平成28年7月1日 (伊勢湾)、7月7,8日 (三河湾)